

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年3月18日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報コミュニケーション学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年1月20日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	中華人民共和国
留学先大学	南京大学(日本語名) 南京大学(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/英語
留学期間	2025年9月～2026年1月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 海外教育学院 現地言語での名称: 海外教育学院  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 9月上旬～1月上旬 2学期: 3学期: 4学期:
学生数	人
創立年	年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 ( ) (1 現地通貨 = 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費		円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	3万5000元 (=80万円)	円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地：バンコク ドムアン空港 目的地：南京空港 経由地：昆明空港

復路 出発地：上海空港 目的地：成田空港 経由地：香港国際空港

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：中国東方航空 料金：約 2 万円

復路 航空会社：キャセイパシフィック航空 料金：3 万円 + 1 万 8 千円(朝寝坊した)

∴合計：5 万 8 千円

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名： )

インターネット(サイト名： 携程旅行)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： 留学生寮 21 棟)     アパート     ホームステイ

2) 部屋の形態

個室     相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

バス     トイレ     キッチン( 自炊可     自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学側の斡旋

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

月 1 万円ほどで 2 人部屋。トイレ、シャワー別で各部屋についている。部屋の広さは申し分なく、台北に留学している友人が私の部屋に遊びに来た際に「俺らはこの大きさの部屋に 4 人で住んでいる」と聞いて驚愕した。周りの世界各国に留学に行った友人の話聞く限り、南京大学の寮は値段、清潔度、広さの観点からトップクラス。

ご飯に関しては食堂が 11 ある。1 つの食堂に 5~6 つほど店が並んでおり、かつ 1 回の食事の平均は 200~300 円。中には火鍋や串焼きの店、バイキング形式の店もある。どの店も店内手作りで本場の手包みでモチモチ水餃子や肉汁が溢れんばかりの小籠包、手打ちのツルツル蘭州ラーメンなどのライブキッチン形式で楽しめる。それに加えて、キャンパス内には無数のカフェが存在しており、タピオカやコーヒーも 150 円ほどで堪能できる。

かつてジェームズ・ヒルトンはその著書「失われた地平線」にてシャングリラ(楽園)はチベットに存在したと評したが、私にとってのシャングリラは間違いなく、ここ南京大学仙林キャンパスに存在した。このような楽園に約半年間身を委ねると、末には体重が 8 キロ増加し、半年ぶりに帰宅した際には妹に「お前は誰だ」と言われてしまった。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 仙林区の地元の病院 キャンパス内にいる猫と毎日じゃれていたら手の甲を噛まれた。大学構内の病院で相談したら「狂犬病ワクチンを打て!」と言われたので学外の地域の病院へ。一日目にワクチンを尻に一本、両腕に4本、太ももに1本の計6本打たれた。夜は副作用で動けなかった。その後も計6回ほど通院して大変めんどくさかったのでネコちゃんは可愛いけど気を付ける必要あり。キャンパス内にいっぱいいてかわいいけどね。)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ガチ平和です。強いて言うならば、高市首相の台湾を巡る発言により日中関係が悪化した時期がありました。日本人の友人は

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮・simカード共に通信良好。ただ、就職活動の話になるがSPIのテストセンターを寮のWi-Fiを使用し、オンライン会場で受験しようとした所、弾かれた。テスセンの職員に尋ねると「ファイヤーウォールの影響で第三国に出国して受験する必要があるかもしれません」と聞き絶望した。後日、VPNを使用したら全然テスセン受験できた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座は大学構内の銀行で開設したが、使用したのは寮費の支払いの一度のみ。その他は全て電子決済。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

心の支えとなる本。余談ですが森見登美彦「四畳半神話大系」高野秀行「西南シルクロードは密林に消える」村上春樹「スプートニクの恋人」は心の支えになりました。スプートニクの恋人は現地で出会ったロシア人ハルキストの友人にあげた。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
中級総合中国語	中級総合中国語
科目設置学部・研究科	海外教育学院
履修期間	2025 年 9 月～2026 年 1 月
単位数	8
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 4 回
担当教授	
授業内容	基本は教科書に沿って内容を進めていく。主にリーディングの授業で新出単語を学びながら例文を作る作業がある。
試験・課題等	課題に関しては毎日、新出単語を使用した例文の作成と教科書のその日に扱った文章を音読、録音するものだった。試験は中間テスト、期末テストの二回。形式は筆記試験で普段の授業の復習を行っていれば困ることはない。
感想を自由記入	授業の要求レベルは HSK4 級以上だが、周りの生徒は 5 級レベルだった。特に、我々日本人は漢字というアドバンテージを持っているのでボキャブラリーや構文などの知識量は欧米から来た留学生の方が多かった。クラスメイトの構成はロシア人、韓国人、イタリア人、日本人の順で人数が多かった。その他、スロバキア、ドイツ、フィンランド、チェコ出身がいた。男女比は 3:7 ぐらい。中には修士課程や既卒生、職業経験ありなど多様なバックグラウンドを持つ生徒が多く、刺激になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
中級口語中国語	中級口語中国語
科目設置学部・研究科	海外教育学院
履修期間	2025年9月～2026年1月
単位数	8
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が4回
担当教授	
授業内容	スピーキングの授業。中国語を使用してディスカッションや音読、プレゼンテーションを行う。2.3週に1度3分程度のプレゼンテーションがある。
試験・課題等	中間試験はディクテーション。教科書で扱った内容の文章ではなく、進出の中国語の録音を聞いて、覚えて書き起こすテスト。授業で学んだことを活かすテストになっておらず、担当教授の「留学生を対象とした中国語学習における習得度調査」に使用されているのではないかと不満も漏れていた。期末試験はプレゼンテーション。留学生各々の国の文化と中国文化を比較するプレゼン。私は日中の豆腐の比較を行った。
感想を自由記入	基本的には前述の授業と同じ形式。どちらの授業もオール中国語を使用して行うため、最初は何を言っているのか分からなすぎて焦った。しかし、クラスメイトと支離滅裂な中国語でふざけた会話をし続けていると、いつの間にか授業内容が理解できるようになった。これは授業外においても現地の中国人とも話せるくらいには上達したのでおすすめ。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

オ一明治

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

共同通信社 ニュースをつたえたいから

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

兎に角、現地でやりたいことを夢中になって楽しんでほしい。話したい人にあつてとことん話して聞いて、行きたい場所に行きまくる。そしたら自ずと自分は将来何がやりたくて、何が向いているかが見えてくる。OB訪問やオンラインの説明会等の留学中にできることを一応は取り組んでいたが、インターンなどは殆ど参加できなかった。けれど、本選考でも選考のかなりいい所まで来れているので自分次第。留学先で出会った友人は遊びも就活も勉強も全て全力でやっていた。勿論、就活は将来数十年を決める最も重要なイベントの1つかもしれない。けれど、自分にとってはそれと同じぐらい留学も人生に大きな影響を与えるイベントだった。私は一浪した上に留学費用を貯めるために休学したので、2年遅れで就活をやっているが「遅れたからどうのこうの」とは面接で聞かれたことが無い。もし、本当に留学にいきたいのであれば、何とかかなと思う!

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTS6.0 取得
	10月～12月	留学願書提出、面接、決定
留学開始年	1月～3月	留学受け入れ先の大学とやり取り
	4月～7月	HSK4 級取得
	8月～9月	出国、東南アジア旅行
	10月～12月	エンジョイ
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

就職活動という、自分の今までのあらゆる行動や思考を全て社会への接続性と社会的意義という観点からただひたすらに意味づけをしていく行為にうんざりしている中で、この留学報告書ではありのままを自由に表現できるので何か安堵を感じる。折角なので留学とはという観点からこの半年の生活を振り返りたい。

留学は往々にして「就職活動で有利だから」とか「ガクチカが」といった理由で消費されることがある。勿論、どうせ行ったら、ということで「留学生 30 人集めて麻雀イベントを開催しました！」という話は私だって企業の面接で何度唱えたかはわからないくらいこすりにこすった。

ただそれはあくまで副次的な産物であって、本来の動機なんて本当に大したことのないものだ。私の場合、「異国の地で長く生活したい」ただそれだけである。加えて「少数民族地域を旅行したい」だとか「中華料理うますぎる」とかいう理由もあって舞台が中国となった。だから、私が言いたいのは留学の動機なんてどんなに些細な理由でもいいということだ。「近所のタイ料理屋のメシが美味かったから現地で生活しながら食べたい」だとか「仲の良い中国人の子もって沢山話したいから中国語を学びに留学に行きたい」だとかなんだったっていいと思う。動機さえあれば、あとはちょっとだけ煩雑な手続きともっともらしい理由づけをすれば晴れて留学だ。費用だってお金が無くても奨学金・休学してバイトする、長期休みで稼ぎまくる、など実現できる手段はいくらでもある。

ぐるりのハイウェイの一節に「僕が旅に出る理由はだいたい 100 個ぐらいあって、一つ目はここじゃどうも息が詰まりそうになった」という歌詞がある。留学なんてちょっとした長い旅だ。そんなに気を負わなくても大丈夫。

私の留學生生活を軽く振り返っていえば、人生の中でこんなに楽しかった日々はない。朝から昼まで世界各国から集まった友人たちと授業を受けて、夜になれば寮から徒歩 5 分のスタジアムのスタンドに集まり、お酒を飲みながら国際情勢、今までの人生、恋愛観、中国についてどんなトピックでもただひたすらに朝まで語り明かし、みんなで寮に帰って行く。誰かの誕生日が来れば誕生日パーティーを開き、休みが来れば広大な中国を旅してまわった。試験が近づけばみんなで集まり、大きなテーブルで教科書を開きながら対策をした。

将来、中国に戻ってくるのがあってもそれは旅行や駐在という立場の基であって、学生のように自由でなんでもスポンジみたいに吸収できて、利害関係を超えた関係性を築きながら生活していく日々はもう手に入らない。そう思うと、中国での 5 ヶ月間の生活は夢だったかのようにさえ思える。

繰り返しになるが、そんなに気負いせずに「ちょっとだけ長い旅」ぐらいの感覚で留学に行ってみたらどうかと思う。少しの動機と勇気さえあれば、あなたのかげがえのない経験になると信じています。